

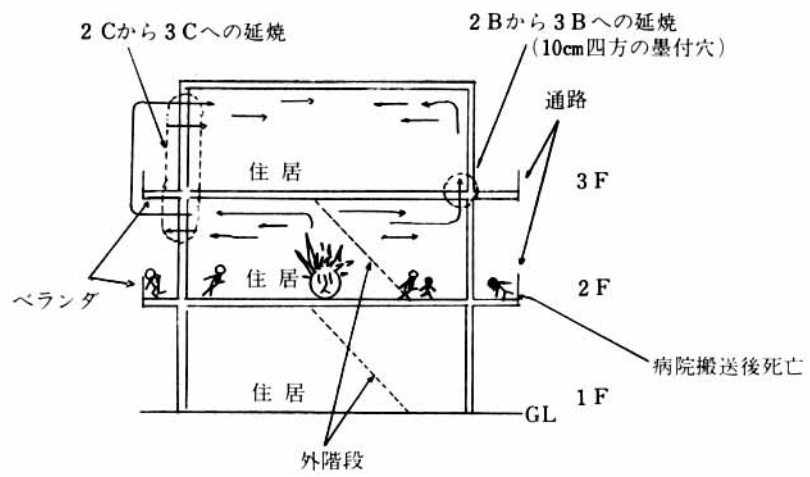
名称 所在	用途 (令別表)	発生日時等	構造・階層 面積	焼損程度 (焼損面積 延面積)	死傷者
今井マンション  東京都練馬区石神井 町8～22～15	共同住宅  (5)口	昭和48年12月11日	耐火 Ⅲ	全・部・小	死者 5名
		出火6時40分ころ 覚知6時41分 覚知別 報知電話 鎮火8時35分	建 122m <sup>2</sup> 延 365m <sup>2</sup>	114m <sup>2</sup> (31%)	傷者 7名 (1)

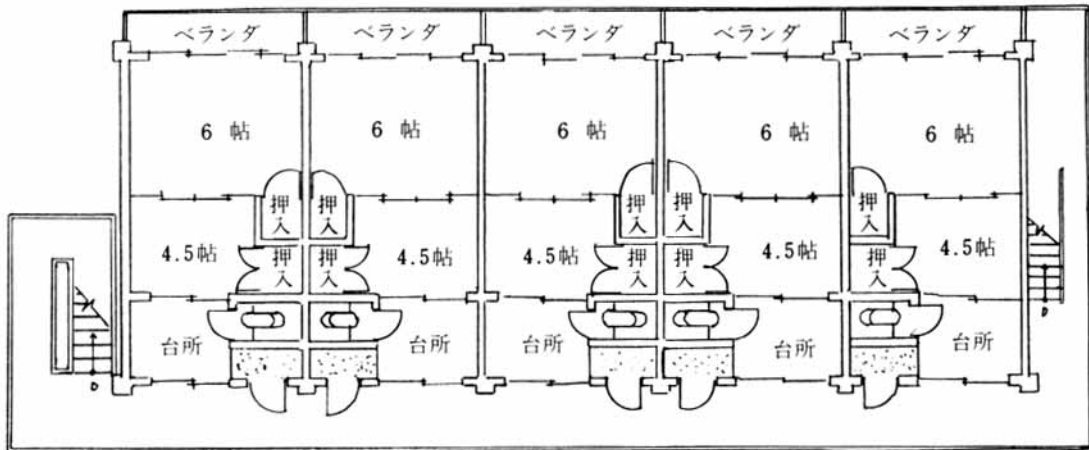
I 火災概要								
① 概要	早朝、鉄筋コンクリート3階建マンションの2階で自殺行為によるプロパンガス爆発火災があり北側隣室の親子3名、南側隣室の主婦1名が焼死し、自殺を計った本人も病院へ収容後死亡した。この火災でガス爆発のすさまじさとともに、スラブにある穴及びベランダ越しの延焼という問題点が提起された。							
② 階 別 状 況	階	床面積 m <sup>2</sup>	焼損床面積 m <sup>2</sup>	用途(売場)	在館者	死者	避難設備等	消防用設備等
	3	121.5	42	共同住宅	10		屋外階段 (1F～3F) 2箇所	③ 各階1本
	②	121.5	72	"	14	5		
	1	122		共同住宅	9			
	合計	365	114		33	5		
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) 共同住宅の2階B号室から出火 21才の喫茶店ウェイトレスと弟(16才)の2人が居住していたが当日は姉が外泊して弟のみがいた。弟のいた4.5畳には電気コタツと、座ぶとんがあり、ふとんは敷いていなかった。他にはステレオ・本箱・茶ダンスが置いてあった。				④ 出 火 原 因	漏洩ガスの爆発 自殺のため放出したプロパンガス が電気コタツのサーモスタットの スパークで引火爆発		

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(出火部位) 居室中央部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(出火室の拡大) プロパンガス 爆発</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(他室への拡大) 爆発によるブロックの 界壁破壊箇所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(上階への拡大) ベランダ スラブ埋め戻し 不完全箇所</div> </div>			
	<p>爆発によりコンクリートブロックの界壁・扉・窓等が碎け飛んだため、一挙に平面拡大した。また延焼により吹き出した炎がベランダ越しに、上階の暴風で破損していた窓に垂れていたカーテンに着火し、居室内へ延焼した。</p> <p>3階スラブに、あいていた埋め戻しのされていない10cm<sup>2</sup>の穴から上階へ延焼し床板・畳・家具類を焼損した。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延焼拡大した主な理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 爆発により界壁・窓等の開口部が碎け飛んでしまった。</li> <li>○ スラブに10cm<sup>2</sup>の穴があいており埋め戻しされていなかった。</li> </ul> </li> <li>○ 煙の伝播経路 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 碎け飛んだ窓からベランダ越しに上階へ吹き上げた。</li> </ul> </li> </ul>				
<b>II 火災建物概要</b>				
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (着工) 昭和39年 月 日 (使用 検査) 昭和39年9月29日			
管 理 状 況	② 縦 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況		
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> <hr/> 建物の両端に屋外階段が2箇所あった。	特記なし		
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等		
	各住戸はコンクリートブロックの界壁により区画されており、共用廊下に面する出入口の扉は甲種防火戸であった。	消防用設備等としては、各階に消火器が1箇所ずつ設置してあるだけであった。		

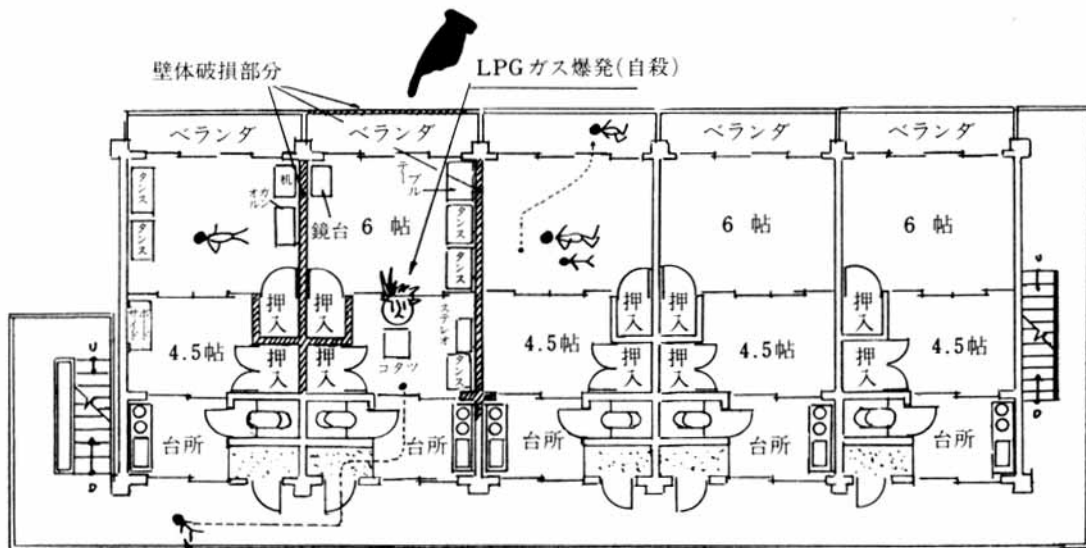
III 火災後の行動	
① 発見状況	<p>○発見者 (居住者, 近隣者)</p> <p>○発見の動機 (爆発による衝撃)</p> <p>○発見後の行動 (避難, 発見, 初期消火)</p>
	<p>居住者, 近隣者はじめ多数の付近住民が, 早朝, 突然おきたガス爆発の衝撃により異常事態に気付く。 (700 m余離れた消防署にも, 異常を感知させるほどの衝撃が伝わってきたほどであった。)</p>
② 通報状況	<p>通報 した <input type="checkbox"/> ( ) 爆発後約( 1 )分</p> <p>しない <input checked="" type="checkbox"/> (隣の寮の住人)</p>
	<p>台所でお湯を沸していたら, 爆発音がしたので, 外へとびだしてみると, 隣のビルの2階2番目の部屋(B号室)より炎が出ていた。その時, 2階3番目の部屋(C号室)のベランダで子供が衣類に火がついて, 助けてくれと叫んでいたため, 自室の電話で通報した。</p>
③ 初期消火状況	<p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>○消火時期 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>○消火方法 <input type="checkbox"/></p>
	<p>○消火時期 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火困難性 <input type="checkbox"/></p> <p>○消火方法 <input type="checkbox"/></p> <p>○その他 <input type="checkbox"/></p>
<p>(理由又は状況)</p> <p>隣の風呂屋の主人は, 突然地震のような衝撃とともに自室2階の窓ガラスがこわれたので急いで外に出てみたらマンション2階の部屋より炎が出ていたので自宅の粉末消火器1本を持って路上より放射するとともに, マンションの住人と南側階段下にあったガスボンベの元栓を締めた。</p>	
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○爆発により界壁が吹き飛び平面ならびに上階へ火面が拡大し火勢が熾烈をきわめたため, 消防隊到着時, 内部進入は困難であった。</p> <p>○異常乾燥注意報が発令中であった。</p>

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項
⑤ 避 難 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> ( 26 人)</li> <li>○エレベーター, エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○窓, 開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○救 助 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○その他( 2階ベランダ ) <input checked="" type="checkbox"/> ( 2 人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無 窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停 電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul>
⑥ 死 者 の 状 況	<p>健康人 3名 (泥酔者 名) 要保護者 2名 乳幼児 2名 高齢者 名 身体不 自由者 名 病人 名</p>	<p>避難上支障となった事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○無 窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</li> <li>○停 電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul>
<p>○2階A室……主婦(40才), 長女(21才), 長男(17才)の3人で就寝中であった。長男は爆発の衝撃でとっさに, 爆発によって吹き飛んだ玄関入口から避難した。長女は隣りに寝ていた母と一緒に逃げようと母の手を引いたが重くて動かず母から「私はいいから早く逃げなさい」と言われベランダに逃げぶらさがったところ1階ベランダにいた男に抱えられ救出。</p> <p>○2階C室……夫婦(35才・29才)と子供2人(3才・1才)の4人で就寝中であった。夫は爆発により顔面に1度火傷を負いながら夢中でベランダに逃げ, ベランダにきた長女を抱いて降りようとして自分だけ下へ落ちてしまい助かる。</p>		
<p><b>IV 問題点・教訓等</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居室のコンクリートブロック界壁に施工上の欠陥があった(完全に縦横に配筋していなかった)ので, プロパンガス爆発により倒壊し, 隣室へ延焼拡大した。</li> <li>2. 爆発により倒壊した壁・家具等の下敷になり避難の自由を奪われた。</li> <li>3. 2階ベランダから上昇した火炎が破壊された上階の窓に垂れていたカーテンに着火し延焼拡大した。</li> <li>4. スラブの埋め戻し不完全箇所から上階へ延焼拡大した。</li> </ol>		





(A) (B) (C) (D) (E)



(A) (B) (C) (D) (E)